



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年4月10日

上場会社名 株式会社 エムビーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東福

(氏名) 山本 貴士
 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-54-1414

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	1,776	24.8	170	7.7	204	15.4	135	19.9
28年5月期第3四半期	1,423	13.1	158	9.8	177	2.2	113	△15.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	18.65	18.37
28年5月期第3四半期	16.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	2,664	1,480	55.5	203.19
28年5月期	2,396	1,369	57.0	187.85

(参考)自己資本 29年5月期第3四半期 1,478百万円 28年5月期 1,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	13.5	250	19.6	277	15.4	183	11.6	25.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	7,275,000 株	28年5月期	7,275,000 株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	— 株	28年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	7,275,000 株	28年5月期3Q	6,953,365 株

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善及び賃金・雇用環境の持続的な改善がみられる一方で、個人消費低迷の長期化と、米国新大統領就任に伴う政策変更や英国のEU離脱問題等の国内景気への景況等、依然として、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、公共投資、民間投資は堅調に推移しているものの、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど厳しい状況も続いております。

このような状況において当社は、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化を継続して取り組み受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底や施工管理のほか、品質・技術の向上に努めるとともに人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大と収益力の向上も図って参りました。

これらにより第3四半期累計期間における売上高は、1,776,062千円（前年同期比24.8%増）、営業利益は、増収による売上総利益の増加に加えコスト圧縮効果もあり170,895千円（前年同期比7.7%増）となりました。また経常利益は、当社太陽光発電による売電収入28,268千円、助成金収入10,219千円、外国社債に関する有価証券利息9,236千円のほか、減価償却費19,485千円、支払利息1,862千円の計上等により204,254千円（前年同期比15.4%増）、四半期純利益は、135,647千円（前年同期比19.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は1,667,038千円（前年同期比25.0%増）となり、セグメント利益は280,541千円（前年同期比7.5%増）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が増加したため、売上高は107,436千円（前年同期比20.9%増）となり、セグメント利益は8,924千円（前年同期比30.3%増）となりました。

(その他)

FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は1,588千円（前年同期比77.8%増）となり、セグメント利益は222千円（前年同期比37.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ268,900千円増加し、2,664,903千円となりました。これは主に、未成工事支出金213,420千円の増加、有形固定資産40,680千円の増加、現金及び預金23,953千円の増加、受取手形19,517千円の増加、投資有価証券34,568千円の減少等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ157,277千円増加し、1,184,280千円となりました。これは主に、支払手形224,552千円の増加、工事未払金85,408千円の減少、未払法人税等12,778千円の減少、長期借入金66,204千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ111,622千円増加し、1,480,622千円となりました。これは主に、利益剰余金135,647千円の増加、その他有価証券評価差額金24,025千円の減少等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月11日に発表いたしました平成29年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	584,089	608,042
受取手形	96,867	116,385
完成工事未収入金	386,874	359,546
売掛金	15,324	27,751
未成工事支出金	101,201	314,621
仕掛販売用不動産	6,210	6,464
原材料及び貯蔵品	15,401	15,360
その他	27,471	32,066
貸倒引当金	△5,651	△4,813
流動資産合計	1,227,787	1,475,425
固定資産		
有形固定資産		
土地	395,240	417,334
その他(純額)	295,549	314,135
有形固定資産合計	690,790	731,470
無形固定資産	1,626	2,890
投資その他の資産		
投資有価証券	326,293	291,724
その他	154,726	169,908
貸倒引当金	△5,221	△6,517
投資その他の資産合計	475,798	455,116
固定資産合計	1,168,215	1,189,477
資産合計	2,396,003	2,664,903
負債の部		
流動負債		
支払手形	—	224,552
工事未払金	263,944	178,535
買掛金	40,065	45,937
1年内返済予定の長期借入金	88,272	88,272
未払法人税等	48,985	36,207
完成工事補償引当金	58,367	64,334
その他	121,214	223,651
流動負債合計	620,849	861,491
固定負債		
長期借入金	316,360	250,156
資産除去債務	5,802	6,059
その他	83,990	66,573
固定負債合計	406,152	322,788
負債合計	1,027,002	1,184,280

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,164
資本剰余金	343,931	343,931
利益剰余金	606,455	742,103
株主資本合計	1,285,551	1,421,198
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	81,049	57,024
評価・換算差額等合計	81,049	57,024
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,369,000	1,480,622
負債純資産合計	2,396,003	2,664,903

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	1,423,376	1,776,062
売上原価	947,442	1,225,726
売上総利益	475,933	550,335
販売費及び一般管理費	317,281	379,440
営業利益	158,652	170,895
営業外収益		
不動産賃貸収入	3,202	3,226
有価証券利息	10,246	9,236
売電収入	20,545	28,268
助成金収入	10,423	10,219
その他	2,016	7,937
営業外収益合計	46,433	58,888
営業外費用		
支払利息	2,602	1,862
売電費用	1,018	1,822
減価償却費	14,281	19,485
貸倒引当金繰入額	1,794	-
株式交付費	8,153	-
その他	235	2,358
営業外費用合計	28,085	25,529
経常利益	177,000	204,254
特別利益		
固定資産売却益	953	-
特別利益合計	953	-
特別損失		
投資有価証券評価損	1,850	-
特別損失合計	1,850	-
税引前四半期純利益	176,104	204,254
法人税、住民税及び事業税	61,797	70,259
法人税等調整額	1,187	△1,652
法人税等合計	62,985	68,606
四半期純利益	113,119	135,647

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成27年8月12日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式処分を実施しました。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が150,152千円、資本準備金が150,152千円、その他資本剰余金が28,136千円それぞれ増加、自己株式が11,904千円減少し、当第3四半期累計期間において資本金が335,164千円、資本剰余金が343,931千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,333,623	88,858	1,422,482	893	1,423,376
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,333,623	88,858	1,422,482	893	1,423,376
セグメント利益	260,999	6,849	267,848	161	268,010

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,848
「その他」の区分の利益	161
全社費用(注)	△109,357
四半期損益計算書の営業利益	158,652

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,667,038	107,436	1,774,474	1,588	1,776,062
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,667,038	107,436	1,774,474	1,588	1,776,062
セグメント利益	280,541	8,924	289,466	222	289,688

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	289,466
「その他」の区分の利益	222
全社費用(注)	△118,792
四半期損益計算書の営業利益	170,895

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。